

南池袋公園

MINAMI-IKEBUKURO PARK

Park Guide

南池袋公園のご案内

南池袋公園によろこそ

南池袋公園は、昭和20年の戦災で焼野原となった跡に、区画整理事業で生まれた公園です。昭和50年に地下鉄有楽町線の工事に伴い再整備され、いまも園内に残るケヤキやソメイヨシノが植えられたのはこの時になります。その後、豊島区の発展とともに公園の多目的な活用を促進するため、平成26年には公園の地下に変電所と駐輪場が整備され、庁舎移転の一年後、平成28年の春に公園全体がリニューアルオープンしました。日本一の高密都市豊島区にあって、大きな樹木や広い青空が残るこの南池袋公園は、時代の変化に対応しながら地域の人々に愛されつづける公園として、地域の未来を見守っていきます。

オープンハートな公園を目指して

リニューアルした南池袋公園の特徴は、公園運営に「サード・プレイス」の理念が組み込まれていることにあります。サード・プレイスとは、現代の都市社会において住宅（ファースト・プレイス）と職場や学校（セカンド・プレイス）を行き来するだけの生活では得られないことのできない、地域への愛着を他者と共有できる居心地のよい第三の場所を指します。都市にある公園が地域のつながりを支援する居心地のよい場所になれば、都市そのものももっとフレンドリーな場所になっていくのではないのでしょうか。人と人とのつながりを生み出す南池袋公園のオープンハートな公園運営に、どうぞご期待ください。





南池袋公園を楽しみつくす

一年中みどりの広がる芝生広場を中心に、生産者と消費者の食を介したつながりの場を目指したカフェレストランをはじめ、地域活動の拠点として利用できる多目的広場、豊島区発祥のソメイヨシノが植わるサクラテラス、小山から滑り下りる大きなすべり台のあるキッズテラスなど、南池袋公園には多世代が楽しめる様々な空間が用意されています。園内には、2500本におよぶ草木が植えられ、園路をめぐりながら四季折々の表情を楽しむことができます。また、外周の高生垣にはミストが併設されており、災害時の延焼防止や猛暑日の気温低下の機能を担うなど、都市を安全で快適に楽しむ工夫がたくさん散りばめられています。



根津山の面影を未来につなぐ

戦後間もないころまで、南池袋公園の周辺は雑木林に覆われた小高い丘でした。この場所を東武鉄道の創業者である根津嘉一郎氏が所有していたことから、地元の人たちは「根津山」と呼んでいました。昭和20年4月13日の城北大空襲時には、多くの被災者がこの雑木林に生命を救われ、多くの犠牲者がこの雑木林に仮埋葬されました。地域の大切な記憶や風景を豊島区の未来に継承するため、南池袋公園の木々とともに往時の面影を刻印したレリーフを多目的広場の壁に展示しています。たくさんの木立に覆われていたかつての池袋の風景に思いを馳せてみませんか。





緑がつなく文化的な楽しみ

豊島区が誇る文化芸術をアート・カルチャーと位置づけ、その魅力を広く国内外に発信するとともに、豊島区ならではの文化の多様性を活かすため、公園や道路といった公共空間を都市の舞台として誰もが主役になれるまちづくりを進めています。南池袋公園は、巨大ターミナル駅を有する池袋副都心と鎮守の森が残る雑司が谷エリアの結節点に位置しており、世界が憧れるクールジャパンを体感できる場所として抜群のロケーションにあります。緑豊かな公園が表現活動の拠点となって、グリーン大通り、庁舎、そして雑司が谷の森へ、文化的な楽しみが緑とともに広がっていく。豊島区が目指す未来の風景を、ここ南池袋公園からスタートしていきます。

植物と生きものを観察する

南池袋公園の周辺には、戦後間もなくまで根津山とよばれる小さな丘のある雑木林が広がっていました。そこには深い樹林や広い草地などの多様な環境に、たくさんの生きものが生息していましたが、戦後の市街化によって多くの緑が失われ、多くの生きものが姿を消してしまいました。南池袋公園では、この地域にもともとある植物を再生することで、この土地にもともといた生きものを誘致する環境をつくり出しています。どんな植物にどんな生きものが集まるのか、園内に設置された環境サインをめくりながら、ぜひ探してみませんか。



池袋駅周辺の防災拠点に

池袋駅は国内第二位の乗降客数を誇る巨大ターミナル駅であり、首都直下地震により駅周辺で大量の滞留者が発生することが予想されます。豊島区の災害対策拠点である庁舎と池袋駅の間に位置する南池袋公園は、災害時に懸念される大量の帰宅困難者を受け入れる必要があります。日常的に人々が憩える空間整備に加え、災害時に懸念される帰宅困難者対策に備えるため、一時的な退避空間、庁舎の災害対策本部と連携した災害情報の伝達機能、救援物資の備蓄機能、災害トイレなどを完備しています。またカフェレストランは災害時の帰宅困難者に対して炊き出し支援を行うなど、豊島区と連携した取り組みによって地域の安全・安心をサポートする役割を担っています。



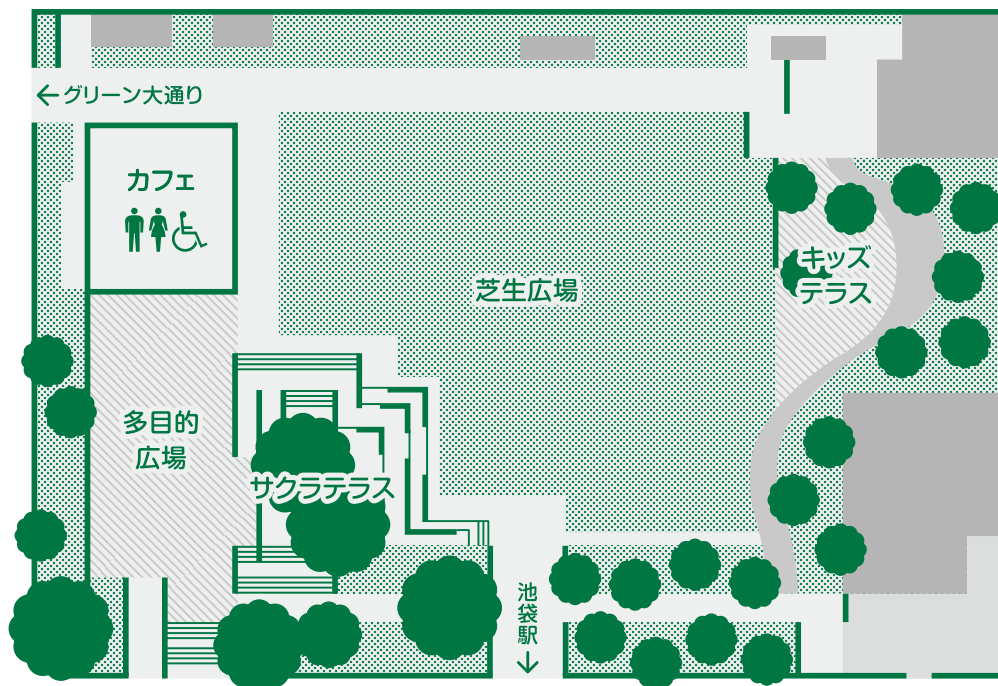
カフェレストラン「RACINES/ラシーヌ」

店名のRACINES/ラシーヌとは、フランス語で「ルーツ」という意味です。南池袋公園から始まったまったく新しい公園づくりが、やがては地域の価値ある未来を創造するルーツになる、そんな思いが込められています。ここでは豊島区オリジナルにこだわって、カフェ、レストラン、マルシェ、様々なワークショップが展開されていきます。たくさんの「美味しい」とみんなの「笑顔」があふれるカフェレストランで、くつろぎの時間をお過ごしください。



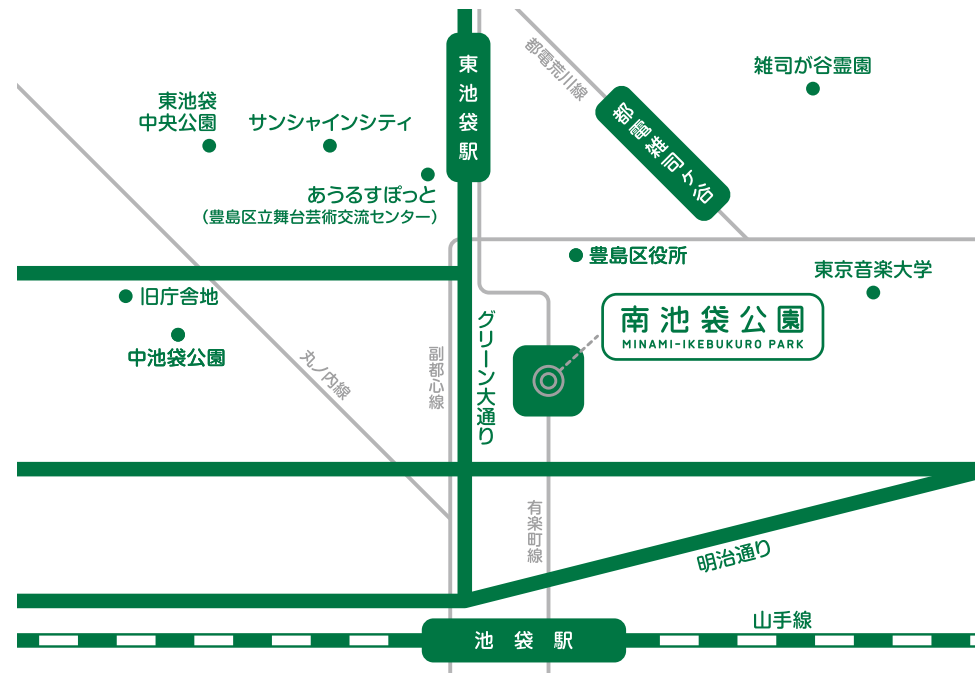
開園時間 8:00-22:00

南池袋公園MAP



- 芝生広場 冬でも枯れることなく一年中みどりの芝生が広がる広場です。
- 多目的広場 カフェ脇にある広場でエリアWi-Fi「TOSHIMA Free Wi-Fi」を利用できます。
- サクラテラス サクラの木の下に広がるデッキです。芝生広場側は階段状になっています。ベンチに座りながら芝生広場を広く見渡せます。
- キッズテラス 小山から滑り下りる大きなすべり台の下に広がり、シーソーや回転遊具などがあります。

アクセス



- 池袋駅 (JR線・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ副都心線・丸ノ内線・有楽町線) **徒歩5分**

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-21-1
お問い合わせ | 豊島区 公園緑地課 Tel: 03-3981-1111

